

新潟県 公立高校の入試制度

【2027年度版】

選抜概要

●2027年度より、新潟県の公立高校入試は特色化選抜が廃止され、一般選抜に一般枠と学校設定枠を設けます。選抜は学校設定枠→一般枠の順番で行われ、一般枠はすべての学校・学科が設定し、すべての志願者が出願します。学校設定枠は枠を設定した学校・学科で選抜が行われ、一般枠に出願した同一校に出願できます。

	出願期間	志望変更期間	入試日	合格発表日
一般選抜	書類提出 2/8(月)～10(水)	2/16(火)～18(木)	学力検査 2/25(木) 独自検査 2/26(金)	3/8(月)
2次募集 (欠員補充)	書類提出 3/11(火)・12(金)	—	3/15(月)	3/16(火)

- 出願は、1校1学科に限ります。
- 入学予定者数が募集定員に満たない場合は、欠員補充のための2次募集を実施します。
- 新潟県立・新潟市立高校の通学区域は県内一円です。

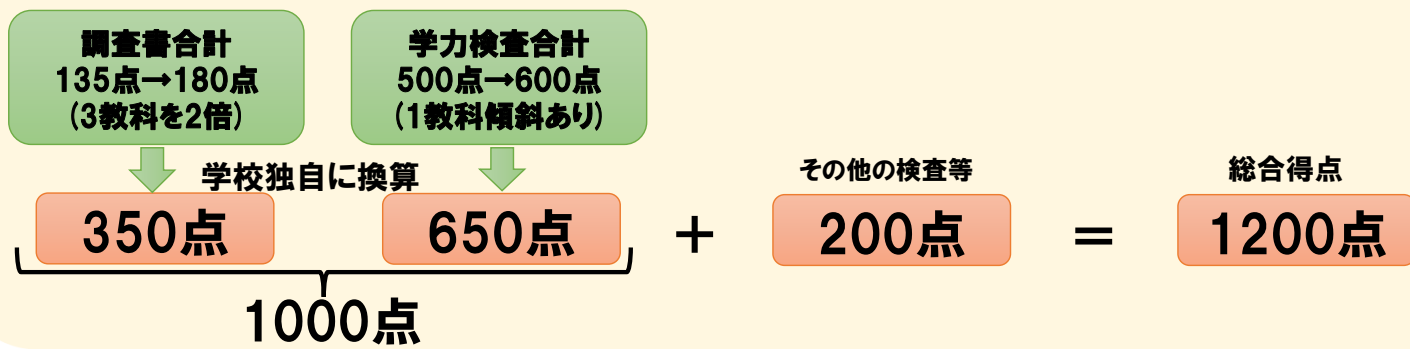
学校設定枠

●学校設定枠は、学校により設定され、各学校・学科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、明確な目的意識を持つ志願者が出願できる募集枠です。募集人員は、5%ごとに50%を超えない範囲の人数で設定されます。

- 調査書の各教科の学習の記録…3年間の各教科の評定を合計する。
学校が指定する4教科までを2倍にすることがある。(上限は195点満点)
- 学力検査の結果…国語・数学・英語・理科・社会 各100点
2教科まで傾斜配点をするところがあり、その場合の上限は700点となる。
- その他の検査等…面接・実技検査等のいずれかまたは複数を組み合わせて実施

調査書の学習の記録の合計と学力検査得点の合計を学校独自でそれぞれ換算したものを換算点とする。換算は合計1000点満点になるように行う。換算点にその他の検査等の得点(上限500点)を加えた総合得点で選抜する。総合得点は学校により異なる。

〈例：調査書の学習の記録を3教科2倍とし350点満点、学力検査の得点を1教科系傾斜有で650点満点、その他の検査等が200点満点の場合の総合点の算出〉



一般枠

●募集人員は学校設定枠の合格内定者を除いた人数となります。

一般枠の選抜は以下のとおりです。

①調査書中の「各教科の学習の記録」に記載されている各学年の5段階評価の数値を合計する。これは135点満点で、1000点満点に換算し、学習の記録の換算点とする。

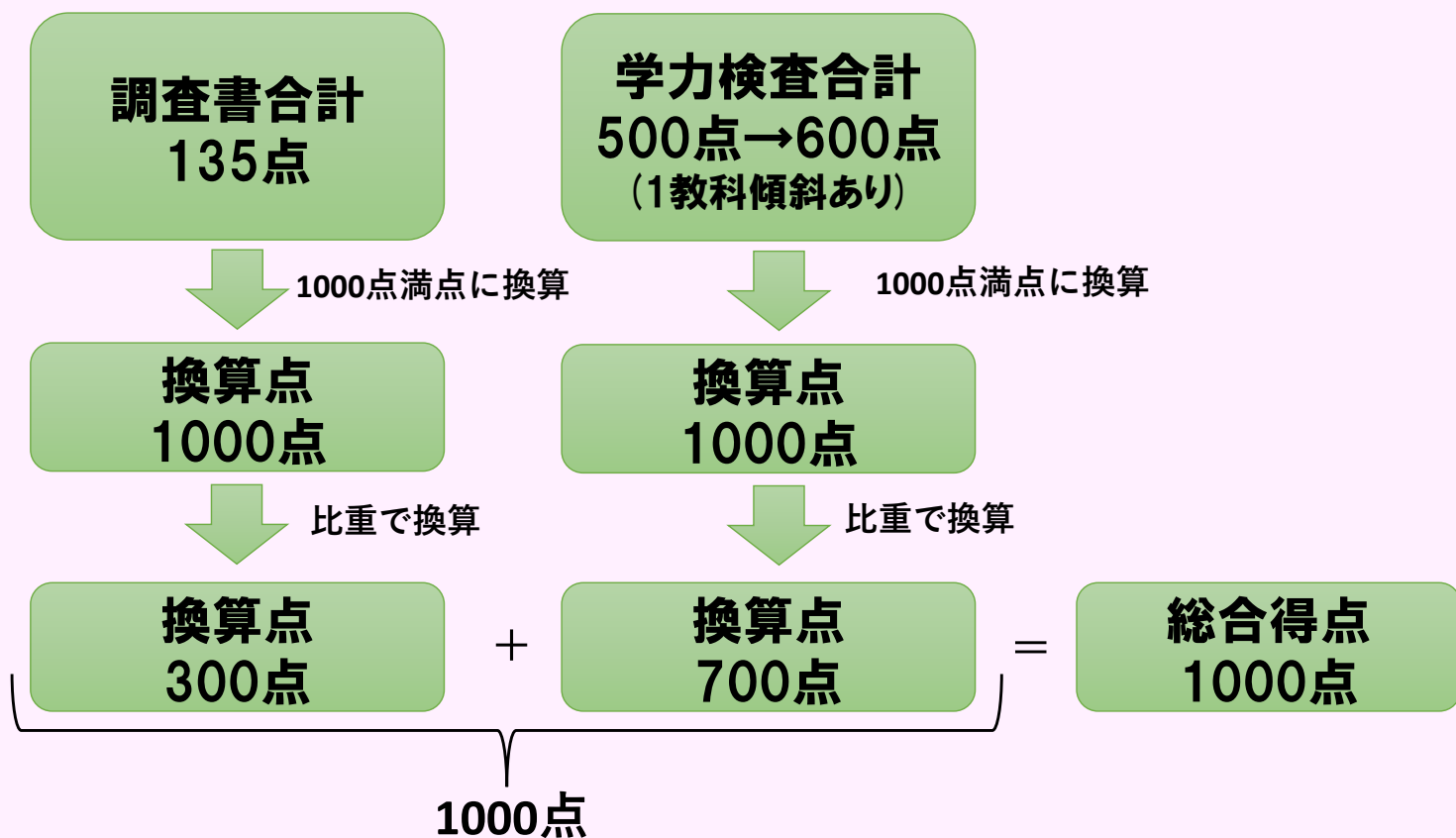
②学力検査の5教科の配点は各100点、500点満点となる。ただし、学校・学科により指定した教科の配点を2倍とする傾斜配点を実施されることがある。傾斜配点は2教科までとし、上限は700点とする。これを1000点満点に換算する。

③ ①と②の換算点を、各学校が定めた比重を用いて換算し、合算した得点が総合得点となる。総合得点は1000点になる。

調査書と学力検査の比重は(7 : 3) (6 : 4) (5 : 5) (4 : 6) (3 : 7)のいずれかとする。

④学校独自検査を実施する学校・学科は、③の得点にさらに学校独自検査の得点を加えたものが総合得点となる。学校独自検査の満点は100点、200点、300点、400点、500点のいずれかとする。学校独自検査を実施する場合の総合得点の上限は1500点になる。

〈例：学力検査の合計が1教科傾斜であり600点満点、調査書と学力検査の比重(3 : 7)で換算、学校独自検査を行わない場合の総合得点の算出〉



・傾斜配点を行う学校・学科や、学校独自検査を行う場合の検査内容の詳細は事前に調べておきましょう。

・インフルエンザ等の感染症や負傷などのやむを得ない事情により、一般選抜を欠席した場合、追検査を受けることができます。